

SS部数学班 世界の舞台へ

「わかりやすく説明できた」

▶左から発表を披露する数学班の小島颯太君(2-1)、横濱君、坂井龍征君(2-1)



▲発表は模型を使うことでわかりやすく伝わったという。

SS部数学班が「soddyの六球連鎖の拡張」という研究を発表した第15回高校生科学技術チャレンジで全国6位相当の朝日新聞社賞に輝いた。この結果を受け、数学班は来年5月にアメリカで開催される国際大会に出場することが決まった。また3年SSクラスの課題研究が「小さなEarth Scientistのつどい～第15回小・中・高校生徒『地学研究』発表会～」において奨励賞を受賞した。

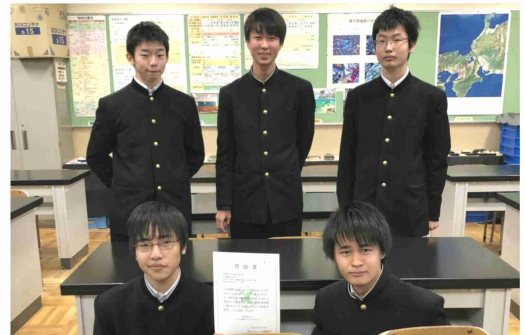
SS部数学班は出場していた第15回高校生科学技術チャレンジで全国6位相当の朝日新聞社賞を受賞した。この結果を受け、数学班は来年5月にアメリカで開催される国際大会International Science and Engineering Fair(以下ISEF)に出場することが

数学班班長の横濱湧太君(2-1)はISEFに向けて「熱い思いが伝えられたのでよかった。海外の発表に期待したい。英語での発表は難しいと思うが、気合で何とかしたい」と意気込んだ。

「soddyの六球連鎖」とは「外球に内接し、かつ互いに接している二つの核球があるとき、外球に内接し二つの核球と外接し、隣同士が外接する球の連鎖数は常に6となる」というものだ。今回の数学班の研究「soddyの六球連鎖の拡張」はこの「soddyの六球連鎖」を発展させたものである。

決定した。

SS部 地学研究でも奨励賞受賞



▲5人は考察に力を入れて研究を行ったそうだ。

3年SSクラスの課題研究「マグマの移動のモデル化」が日本地質学会第124年学術大会「小さなEarth Scientistのつどい～第15回小・中・高校生徒『地学研究』発表会～」において奨励賞を受賞した。この研究は吉田尚史君(3-1)、村上快君(3-1)、木場健太郎君(3-1)、瀧井治貴君(3-1)、山岡厚仁君(3-1)の5人によって行われた。受賞に際してリーダーを務めた吉田君は「試行錯誤を重ねた実験だったので、評価されてうれしい」と話した。



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号